

西部のたより

第199号

発行日 令和4年4月20日
 発行者 福野西部地区協議会
 編集 福野西部交流センター
 電話・Fax 0763-22-5759
 メールアドレス seibu.kmn@gmail.com

令和4年度西部地区協議会総会 開催

4月10日（日）午後4時から福野西部交流センターにおいて、新型コロナウイルス感染予防対策を行い、令和4年度西部地区協議会総会が開催されました。総会は、水木猛協議会会長のあいさつ、石川弘市議会議員の来賓祝辞の後、会長を議長として議案審議に入りました。第1号議案から第8号議案まで、構成員の書面表決含め賛成多数で可決されました。なお協議会会長は水木氏辞任に伴い、河合豊氏（前センター管理者）が就任し、河合氏の後任に小森典氏が就任しました。

<令和3年度収支決算額と令和4年度収支予算額>

収入の部

項 目	令和3年度決算額	令和4年度予算額	摘 要
会 費	700,000	700,000	2,000円×350戸 前期会費
交流センター使用料	37,255	50,000	交流センター協力金・コピー印刷機使用料
住民自治推進交付金	7,319,560	7,124,950	地域づくり費 1,968,000 生涯学習推進費 573,000 社会福祉推進費 198,000 推進人件費 4,114,560 施設維持管理費 359,000 地域事業推進費 107,000
各種補助金	935,800	774,800	地域福祉事業、社会福祉、ふくのスポーツ、防犯他
寄付金	0	80,000	祝儀（行燈）等
雑収入	57,175	50,000	利子、自販機手数料等
前年度繰越金	1,843,242	1,859,074	
収入合計	10,893,032	10,638,824	

支出の部

項 目	令和3年度決算額	令和4年度予算額	摘 要
会議費	83,429	200,000	総会、推進会議、部会等
一般管理費	410,465	330,000	外灯電気料、農村公園管理、平和の塔祭礼等
センター管理費	4,722,649	5,550,950	
光熱水費	390,960	440,000	電気料、上下水道料、燃料費
電話料	29,696	30,000	
委託料	171,146	200,000	消防設備点検、公民館総合保険料等
備品費	142,252	200,000	長机他
消耗品費	374,019	350,000	印刷機インク、プリンターメンテナンス一式等
修繕料	140,195	100,000	コピー機修理、1階和室壁修理
借 料	16,000	50,000	万巻、防犯カメラ設置借料
推進人件費	3,458,381	4,180,950	人件費、手当、労働保険、雇用保険
事業費	2,872,672	3,971,500	
活動費	1,721,172	2,820,000	米寿を祝う会、住民アンケート取組事業等
育成費	430,000	430,000	消防団育成、15教室助成
集落交付金	661,500	661,500	区長手当
負担金	60,000	60,000	福野地域行政連絡会へ
慶弔費	0	50,000	
事務費	377,583	400,000	ハガキ、負担金等
予備費	567,160	136,374	1階フロアカーペット、平和の塔修理等
支出合計	9,033,958	10,638,824	

就任の挨拶

福野西部地区協議会 会長 河合 豊



この度、水木 猛前協議会長の勇退に伴い、図らずも西部地区協議会長の要職を引き受けることになりました。

元より浅学非才の身と自覚しているところであり、その任に相応しい者とは思ってはおりませんが、水木前会長を始め皆様方のご支援ご協力を得ながら、力を振り絞って務めてまいりたいと存じますので、お引き立て賜りますようよろしくお願い申し上げます。

西部地区では、コロナ禍が続きこの2年間中心的事業が満足に開催できない状況になっておりますが、何とか正常な社会生活を取り戻すとともに、高齢化や人口減少に向かっている流れに歯止めをかけるべく課題を見出し、活動を進めることが求められております。

地区住民の皆さんと共に、安全で住みやすく、お互い仲良く助け合える地域社会を目指したいと思いますので、重ねてご支援をお願いし就任の挨拶といたします。

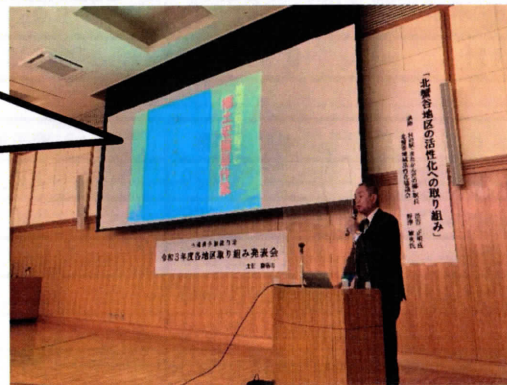
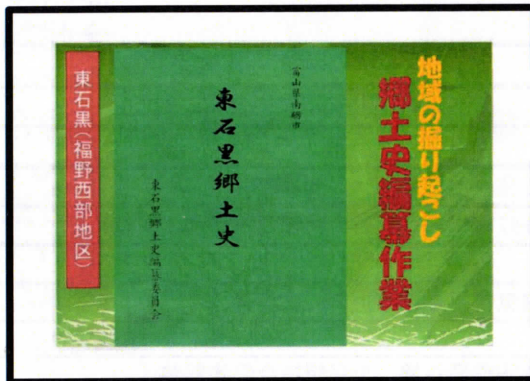
就任の挨拶

事務局長 小森 典



この度、河合豊氏が西部地区協議会会長に就任されましたので、その後任として協議会事務局長に就くことになりました。昨年度から地域指導員・生涯学習リーダーとして参画させていただいていますが、コロナ禍で事業も中断していることからわからないことばかりです。微力の身ではございますが、少しでも地域の皆様のお役にたてばと思っておりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

南砺市「各地区取り組み発表会」 西部地区の郷土史編纂を事例発表



2月27日(日)にア・ミューホールで「令和3年度小規模多機能自治各地区取り組み発表会」が開催され、南砺市の4つの地域づくり協議会の事例の中で当西部地区協議会の「東石黒郷土史編纂」について発表しました。当時編纂責任者であった片岸吉充氏が要点をまとめた素晴らしいスライドを作成し、事例発表していただきました。編纂の経緯や郷土史の内容とともに、作成の過程で当地区出身の金田章裕京都大学名誉教授にアドバイザーとして協力いただけた幸運の一方で、前責任者であった河合達雄公民館長の急逝による責任者交替の出来事など苦労話もありました。他の協議会でも郷土史編纂に関心のあるところもあるようで、終了後持参した郷土史4冊の購入がありました。

参考まで他の3地区の発表は次のとおりです。

- ・大鋸屋地域づくり協議会「除雪サポート事業とECOステーションの運営」
- ・井波地域づくり協議会「地域づくり協議会とジソウラボの連携によるまちづくり」
- ・平地域づくり協議会「地域の魅力発信への取り組み」

令和3年度繰越金 455,996円

【西部のこの人】(22)

門永 哲也(新邸)



トライアルライダー現役時代

私は母の故郷である南砺市福光の石黒地区で育ちました。小さいころから友達付き合いが得意ではなく、一人で遊ぶことが多かった私は自転車に乗って山に行ったり、釣りに出かけたりして遊んでいました。そんな折に自分の行動を広げるための大事なツールである自転車が壊れてしまい、なじみの自転車屋さん(?)に修理してもらうことになったのですが、そこでオートバイの「トライアル」というスポーツを知ることになりました。

トライアルというモータースポーツを聞いたところがある人は少ないと思いますが、簡単に説明すると足を着かずに決められた採点区間を走破していくというものです。足を着くとその回数を減点としてカウントされ、それらを合計して総減点数が少ない人から上位に並んでいきます。採点区間は10か所ほどあり、それらをそれぞれ2回又は3回ずつトライしていきます。回数も多く全ての参加者がトライし総合計点数を集計するので、1日がかりのレースとなります。

そのお店のお客さんが近く of 草大会を見に連れて行ってくれて、初めてちゃんとしたオートバイレースを見たのですが、参加者の皆さんがとても楽しそうに見えました。また、難しい地形や簡単なコースなどいろいろなものがあり、レベルに応じてそれぞれの参加者なりに取り組んでいるように見えました。さっそく帰ってから自分もやりたいと思い、中古のオートバイをアルバイトで貯めたお金で買うことにしました。何とかオートバイを手にはしましたが、自分では運べないので困っていると、なじみの自転車屋さんに入出入りしている大人の方が「休みの日に自分も行くから連れて行ってあげる」と迎えに来ていただけることになりました。

学生時代にはいろいろな方をお願いしたり、目をかけていただいて、ほとんど毎週末オートバイを運んでいただきました。当時はただただうれしいだけでしたが、大人になってから考えてみるとものすごい労力をかけていただいたと思いました。本当に感謝しかありません。その後、高校を卒業してからは自分で車を運転してオートバイを運べるようになり、レースもどんどん本格的になっていき、全日本選手権トライアルや、世界選手権日本大会などに参加し、自分の中で踏ん切りがつくところまで、レースに打ち込みました。

その後は何とかこの業界に留まり生計を立てていきたいと考え、トライアル専門としての小売店を始めました。幸いなことに自分が選手として参加していた事を知っていただいた方々に沢山応援していただき、何とかやってこれました。また、3年目を迎える頃には幸運なことに海外オートバイメーカーの日本代理店業務のお話があり、やらせていただくことにしました。自分がレースに参加していた時のことを思い返しながら、どうすればユーザーさんに親切的な輸入業者となるのか?ということを考える毎日で、あっという間に

東京モーターサイクルショー
トライアルブース出展の様子現在のチームライダーの
チャンピオン獲得時

月日が流れていきます。今もまだまだ分からないことが多く、ご迷惑をおかしている事も多いですが、今の仕事を通じてお世話になった方々はもちろん、育てていただいたオートバイ業界に対して、自分たちのやり方で恩返ししていくことを信条として日々活動しています。

今後はオートバイ業界全体イメージ向上やモータースポーツの普及活動にも注力していきたいと考えています。

【わたしのつぶやき】(24)

今井 和代(梅ヶ島)

今年の冬は寒く雪も多かったので、スポーツの観戦三昧と決め込んだ。北京冬季オリンピックでは、毎日日本選手の活躍に心躍らせた。パラリンピックでは川除大輝選手の金メダルに富山県のみならず日本中が湧いた。

しかしオリンピックの後、ウクライナにロシアが侵攻した。連日空爆の映像や激しく壊れた街の様子、市民の悲惨な状態などが放映されるのを見ると心穏やかではられない。1ヶ月以上経った今でも状況は良くなっていない。「世界の指導者たちよ、なんとかこの状況を止めて欲しい」と心から願わずにはられない。避難民支援のボランティアの方が、子供たちに青空を見せてあげたいと言っていた言葉がとても印象的だった。

また、新型コロナも重症化率は少ないとはいえ、まだまだ新規感染者が多い状況だ。でも、確実に春は訪れて、季節は移り変わっていく。綺麗な花たちを見に行こうかな。青空のもと自由に出かけられる平和に感謝しながら。

我が家のアイドル



笹嶋 桜乃(さくらの)

6歳1か月

七菜翔(ななと)

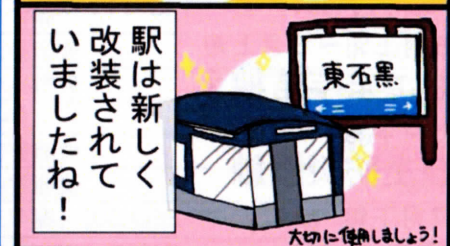
4歳4か月

いつまでも仲良くいてね♪

パパ 雄介

ママ 彩乃

(三ツ屋)



落ち着いたら遠出もしてみたい...

色紙



[椿]

高野 光子

(布袋)

活花



[古流]

水木 猛

(桐木)

俳句

趣味のコーナー

春炬燵過去を語りて小半日
梅蕾告げる人亡き雲流る

堀 英子

かいがいし若きナースの更衣
妹の軽いジョークや四月馬鹿

今井 淳良

== 絵はがきで高齢者の励まし ==

コロナ禍で高齢者への訪問活動が減っているため、寂しい思いをしておられるお年寄りを元気づけようと、西部地区協議会で絵はがきを送ることを今年も企画しました。



疫病退散にご利益があるとされる「アマビエ」のぬりえを印刷したはがきに、地区内の小学生約50人が励ましの言葉を添えて、地区内の高齢者宛に3月19日投函しました。



ぬりえの絵はがきを投函する子どもたち

交流センターからのお知らせ

(日程が決まり次第、あらためてお知らせします)

- ☆ ミニ行燈作り・夜高行燈練りまわし
5月上旬～6月上旬
- ☆ さつま芋苗植え
5月下旬
- ☆ 自主防災訓練
7月下旬
- ☆ 夏のつどい(旧 盆踊り)
8月上旬
- ☆ 運動会
9月下旬
- ☆ 令和4年度西部地区文化祭・敬老会
10月30日(日)
- ☆ 三世代カローリング大会
11月27日(日)
- ☆ しめ縄・門松・餅つき大会
12月下旬



＜西部地区 世帯数・人口＞ 令和4年3月末現在

※ () 内は令和3年3月末比

世帯数	4 2 3 戸 (－ 3)
男	6 4 1 人 (－ 1 6)
女	7 2 0 人 (－ 1 8)
合計	1, 3 6 1 人 (－ 3 4)

編集後記

ウクライナの戦争が私たちに、今後どのような影響が出てくるのか。

日本に生まれ、私は運が良かっただけかもしれないが、戦後の昭和、平成、令和しか知らず、平和ボケと言われても、戦争を一度も体験しないで生きてきた。

何度か他国の戦争を、テレビのニュースで見ることがあったが、今回の戦争は、毎日のニュースで紹介され、情報量も多く、嘘の情報も飛びかい、国連の会議でもためらうことなく発言され、自国が優位になる思惑が色濃く見え、戦争の醜さが見える不快感が有る。

どんな終わり方をして、ウクライナの被害は多く、復興はいつになるのか大変だと思いますが、ロシアも国内のわだかまりや責任問題を、どの様に解決するのか、気になるところです。

どんな影響が出たとしても、現在の生活水準を低下させても、私は生活できる自信は有るのだが。